

ご自由にお持ちください

# 体温計

特集

クラウドファンディングによる  
DMAT車両導入のご報告  
病院長謝辞

# 感謝

# を乗せて走り出す



# 新生

# DMAT

# カー



# クラウドファンディングによるDMAT車両導入のご報告

令和6年の能登半島地震、被災地に向かう当院DMATを阻んだのは想像を絶する悪路と雪道でした。隊員の安全を守り一刻も早く救援を届けるために、当院はオフロード対応DMAT車両導入を目的としたクラウドファンディングに挑戦。

令和7年秋、この挑戦に対し238名の皆様から寄せられたご支援は、目標を大きく上回る1,651万8,500円に達しました。単なる資金調達ではなく、地域やご支援いただいた皆様との絆を再確認できたことは、私たちにとってかけがえのない財産です。

今号ではクラウドファンディングを振り返り、ご支援に深く感謝申し上げますとともに、皆様の志を乗せて走り出す新車両を紹介いたします。

## 皆様からいただいた 応援メッセージ



昨年大変お世話になり、おかげさまで健康を取り戻すことができました。ありがとうございます。

何度か命を救って頂き本当に感謝しております。目標金額、達成しますように！！

被災地の厳しい環境の中で医療支援を行うDMATの皆様が、安全に、活動しやすいようなDMATカー購入の一助になればと思います。頑張ってください！

医療従事者が安全に任務を遂行し、無事に家族のもとに戻れますように。DMATのみならずと支えるご家族のみなさまを応援しています。

DMATに関わる方も大変だと思います。助けを求めている方の光だと思いますので、頑張ってください。

尊い働き、感謝します。皆さんのお力をお借りして、多くの人が救われますように。皆が助けあう、豊かな社会になります様に。

地元で大変お世話になっています。医療従事者の皆様の無理のないご活躍をお祈りします。少しでも活躍しやすくなるように！

この他にも、数多くの温かいメッセージをいただきました。

## 地域・支援者の皆様とともに走った

# 71日間の軌跡

目的: DMAT(災害派遣医療チーム)のオフロード対応車両購入  
期間: 令和7年9月19日~11月28日  
目標金額: 1,000万円

クラウドファンディング開始  
令和7年9月19日

目標金額30%達成

目標金額83%到達  
10月10日

多くの個人の方々、地域の団体様からのご寄付をいただきました。



ライオンズクラブの皆様からご寄付をいただき贈呈式を執り行う  
10月29日



静岡病院心臓病友の会の皆さまからご寄付をいただき贈呈式を執り行う  
10月31日

他、地域の企業様・医療機関様・教育機関様などから数多くのご寄付をいただきました。

第1目標金額達成&ネクストゴール挑戦へ  
11月5日

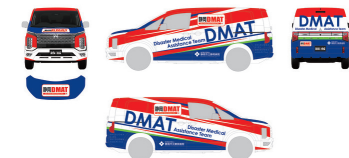
1,000万円 1,500万円

新DMAT車両カラーデザイン投票開始  
11月17日

ネクストゴール1,500万円達成  
11月21日

クラウドファンディング終了、新DMAT車両カラーデザイン決定  
11月28日

投票(総数336票)により車両デザイン案を決定



新DMAT車両お披露目式  
令和8年4月8日



車両のカラーデザインは、「白」病院の清潔感・誠実感、「赤」緊急性、病院やDMAT隊員の熱い思いを表し、「青・黄緑」静岡病院のアイデンティティカラーを取り入れた3つのデザイン案を作成。それらを病院ロビーに掲示し、来院された地域の皆様にご投票していただきました。その結果、多くの声により選ばれた

デザインがこの車両に採用されています。いざという時、この車両は迅速に現場へ向かい、多くの命を守るために活動します。そしてその背後には、支えてくださった地域の皆様の思いがあることを、私たちは決して忘れません。このDMAT車両は地域とともに走り、地域の命を守る一台です。



## DMAT隊からのお礼

### 米沢 圭

DMAT隊長/災害対策管理室 副室長

この度は皆様のご厚情のおかげで新規のDMAT車両(デリカD:5)を導入できました。心より御礼申し上げます。積雪・悪路も走破可能とされており、早く・確実に被災地に入り、少しでも長く現場でお役に立ちたいと隊員一同気持ちを新たにしております。

### 名取 宏樹

DMAT隊 看護師

皆様のご賛同により、素晴らしい車両を購入することができました。皆様のご期待に添い、被災地の方々のお役に立てるよう今後も尽力していきます。

### 池田 直人

DMAT隊 業務調整員(ロジスティクス)

能登半島地震での活動に参加し被災者の方々に寄り添う活動の大切さを改めて実感しました。今後も訓練に励み有事の際は迅速かつ確かな活動ができるよう努めていきたいと思っております。

### 杉山 倫代

DMAT隊 看護師

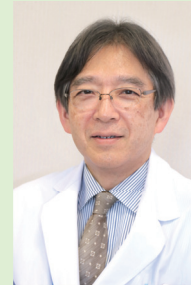
令和6年能登半島地震への道中は、損壊したアスファルトで道が悪く雪道の悪天候でした。この度は皆様のご支援により新たな車両で活動できることに深く御礼申し上げます。

### 大塚 諭

DMAT隊 業務調整員(ロジスティクス)

ご支援いただき心より感謝申し上げます。DMATの使命のもと、発災時には本車両とともにいち早く災害最前線へ駆けつけ、被災地の医療機能を守り抜くため全力を尽くしてまいります。

## 病院長謝辞



新DMAT車両購入への多大なるご支援、厚く御礼申し上げます。ご寄付とともに寄せられた数多くの温かいお言葉に、何度も感激いたしました。万一の災害時には、皆様の思いが詰まった車両と共に被災地へ赴き、救護活動に全力を尽くす決意です。皆様の尊いお気持ちを胸に、地域の医療を守るべく精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

病院長 前田 明則

多くの励ましのお言葉をいただき、その一つひとつが、私たちDMAT隊、そして病院職員一同の大きな力になりました。今回のクラウドファンディングへのご支援と応援に、心より感謝申し上げます。

## DMAT (ディーマツト)とは?

—命をつなぐ  
「初動の医療」を担う存在

大規模災害や大事故などが発生した際に重要なのは、一刻も早く救急医療を届けること。阪神・淡路大震災において、平時の救急医療体制があれば救命できた「防ぎ得た災害死」が約500人であったと言われています。この教訓をもとに、災害発生直後から救急医療を提供することを目的として、平成17年、国によってDMAT (Disaster Medical Assistance Team/災害派遣医療チーム) が創設。全国の病院でDMATの立ち上げが進みました。

医師・看護師・業務調整員 (医師・看護師以外の医療職及び事務職員) で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの、発生直後の急性期 (おおむね48時間以内) から活動を開始できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。主な役割は以下のとおりです。

傷病者に対する  
救命医療

重症患者の  
広域搬送調整

地域の  
医療福祉体制の  
維持・支援

医療機関や  
福祉施設等への  
直接支援

災害時は、医療機関自体も被害を受けることが多く、通常の医療体制が機能しなくなることがあります。DMATはそうした混乱の中で、現場の医療を支える“即応部隊”として活動します。当院では、現在医師5名、看護師6名、業務調整員14名の計25名で活動しており、24時間の緊急対応体制を整えています。

## 「DMAT」の活動で、災害拠点病院としての対応力強化を目指す

当院ではこれまで、阪神・淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災の発災時に、医療救援チームを臨時的に編成して派遣してきました。

平成25年 (2013) に「災害派遣医療チーム / DMAT」を立ち上げ、同年、災害発生時に傷病者を受入れ、医療支援を行うための高度な機能を持つ医療機関として「災害拠点病院」に指定されました。災害対応力を向上させ、当院の医療提供体制を維持することは、将来的に多くの静岡市民の皆様を救うことにつながると信じて、訓練や災害時医療体制の充実に取り組んでいます。



DMAT 訓練の様子



多数の組織の代表者が集まって、活動報告と情報共有を行う様子 (能登半島地震にて)

### 沿革・活動実績

- 平成7年 (1995) 阪神・淡路大震災に医療救援チームとして派遣  
派遣期間: 平成7年1月26日~1月29日
- 平成16年 (2004) 新潟中越地震に医療救援チームとして派遣  
派遣期間: [第1陣] 平成16年11月8日~11月12日  
[第2陣] 平成16年11月11日~11月15日
- 平成23年 (2011) 東日本大震災に医療救援チームとして派遣  
派遣期間: [第1陣] 平成23年3月27日~3月31日  
[第2陣] 平成23年5月26日~5月30日
- 平成25年 (2013) 災害派遣医療チーム / DMAT を立ち上げる
- 平成28年 (2016) 熊本地震にDMATを初めて派遣  
派遣期間: 平成28年4月22日~4月28日
- 令和6年 (2024) 能登半島地震にDMATを派遣  
派遣期間: [第1陣] 令和6年1月5日~1月9日  
[第2陣] 令和6年1月20日~1月24日  
[第3陣] 令和6年2月16日~2月19日

市民健診  
センター

## 人間ドック | 脳ドック | 健康診断 | レディース検診

予約制 / 当日結果説明 ※検査項目により当日結果説明不可場合があります。

受付  
月~金 10:30~16:00  
※ 祝日、年末年始を除く

ご予約・お問い合わせ  
市民健診センター 054-253-3125 (内線5350)

外来受診  
ご案内

受付時間 | 午前 8:00~午前 11:30  
休診日 | 土・日曜日、祝日、年末年始

※一部、受付曜日や時間が異なる診療科があります。  
※担当医は都合により変更することがあります。

急病時  
連絡先

24時間受け付けています  
救急外来: 054-253-3125 (代表)  
心臓救急: 054-252-4399



地方独立行政法人  
静岡市立静岡病院  
SHIZUOKA CITY SHIZUOKA HOSPITAL

〒420-8630 静岡市葵区追手町10番93号  
TEL 054-253-3125 / FAX 054-252-0010  
URL <https://www.shizuokahospital.jp/>



静岡市立静岡病院広報 体温計 第166号  
令和8年5月 (季刊発行)  
発行: 地方独立行政法人静岡市立静岡病院  
広報委員会 (総務課 総務・企画係内)